

単元名	資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう	配当時間	11 時間
単元の目標	(1) 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使うことができる。 (2) 目的に応じて必要な情報を見付けて論の進め方を考えるとともに、引用したり図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。 (3) 文章と図表などを結び付けて読み、読み取った筆者の工夫を生かして、統計資料を用いた意見文を書こうとする。		

標準的な展開例

05010211_001

【教材名】固有種が教えてくれること/統計資料の読み方/グラフや表を用いて書こう

(P. 137)

【準備等】知多の友

学 習 活 動	留 意 事 項 など
1 学習課題を設定し、学習計画を立てる。 ★資料を用いた文章の効果を考えて書こう。 ○教科書(P. 137)の2匹のうさぎを比較する。 ○本文を読み、感想を書く。 ○学習課題を設定し、学習の計画を立てる。 2～3 文章の構成を整理し、内容を捉える。 ○「初め」「中」「終わり」のまとまりを確かめる。 ○筆者の考えを捉える。 ○「中」を二つのまとまりに分け、文章を整理する。 4 資料の効果について考え、要旨をまとめる。 ○教科書(P. 148)「統計資料の読み方」を参考に、資料の読み方を確認する。 ○資料と文章を結び付けて読み、要旨をまとめる。 5 筆者の考えや論の進め方について、自分の考えをまとめる。 ○図表を用いる効果について考える。 ○筆者の考えや論の進め方について、自分の考えをまとめる。 6 資料を用いた文章の書き方について話し合う。 ○図表が使われている文章を読み、その効果をまとめる。 ○図表を用いて書くときに生かしたいことを考える。 7～8 自分たちが暮らす社会についての考えをもち、必要な資料を集める。 ○「わたしたちの社会はくらしやすい方向へ向かっているか」について、自分の考えをもつ。 ○自分の考えに合う資料を集め、そこから読み取れることをまとめる。 9～10 グラフや表を用いて文章を書く。 ○採った資料を基に構成を考え、文章を書く。 ○書いた文章を読み返し、推敲する。	・本単元は、「知多の友」に掲載されているので、十分に活用したい。 ・「固有種」とはどういうものか想像させる。 ・意味の難しい言葉は国語辞典で調べさせる。 ・二次元コードを読み込み、画像や資料を見せると、イメージが付きやすくなる。 ・初発の感想から文章中の資料に触れる発言を取り上げ、学習課題へとつなげる。 ・三つのまとまりに分けられる理由を発表させる。 ・「初め」と「終わり」の内容に着目させる。 ・二つに分け、見出しをつけさせることで、内容を捉えさせる。 ・単位や目もり、調べた時期や対象を確かめることを押さえる。 ・「固有種が教えてくれること」はどんなことに注意して、文章の要旨を150字程度でまとめさせる。 ・図表がない説明を想像させ、効果を考えさせる。 ・図表などの効果に触れながら、自分の考えを書かせる。 【評】文章の内容を捉える活動を通して、筆者の論の進め方の工夫を考える「思考・判断・表現」を評価する。 【評】自分の考えについてまとめる活動を通して、情報と情報や語句と語句との関係を理解する「知識・技能」を評価する。 ・本や新聞記事を読ませ、資料から読み取れることや、図表の効果を考えさせる。 ・自分が資料を使って書くときに気を付けることを考えさせ、次時の活動につなげる。 ・知多の友(P. 31)に「くらしやすさ」「くらしにくさ」についてまとめ、その中から自分の意見を書くための課題を考えさせる。 ・本やインターネットを使って資料を集めさせ知多の友(P. 32)にまとめさせる。 ・表やグラフから読み取ったことが妥当かどうかを考えさせる。 ・知多の友(P. 33)に構成を考えさせる。 ・知多の友(P. 34～36)に書かせる。 ・教科書(P. 153)の「たいせつ」のポイントを意識して書かせる。 【評】文章を書く活動を通して、自分の考えが伝わるように工夫して書く「思考・判断・表現」を評価する。 【評】文章を書く活動を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・知多の友(P. 37)を活用する。

<p>11 書いた文章を読み合い，学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 書いた文章を読み合う。 ○ 意見や考えを交流する。 ○ 学習を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 知多の友 (P. 37～38) を活用する。 ・ 文章を読み合うときの観点を示し，どのような視点で読めばよいか理解させてから交流させる。 <p>【評】 書いた文章を読み合う活動を通して，情報と情報との関係づけの仕方，図などによる語句と語句との関係の表し方を理解する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教科書 (P. 153) の「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を押さえる。
--	--

【 備 考 】